

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成25年度第6回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成25年9月19日(木) 18時30分から20時30分まで			
開催場所	墨田区役所3階 31会議室			
出席者数	<p>【委員17人】</p> <p>阿久沢委員 池田委員 伊藤委員 宇田川委員 笠貫委員 久保田委員 小木曾会長 佐野委員 島崎委員 清水副会長 永岡副会長 野島委員 本間委員 松本委員 森下委員 柳委員 横井委員</p> <p>【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	<p>1 すみだ環境の共創プラン<改定版>進捗状況評価について</p> <p>2 平成25年度 下半期の計画について</p> <p>3 その他</p>			
会議概要	<p>1 すみだ環境の共創プラン<改定版>進捗状況評価について</p> <p>すみだ環境の共創プラン<改定版>進捗状況評価(案)平成24年度実績について事務局から説明を受けた。</p> <p>進捗状況評価とは、すみだ環境の共創プラン<改定版>に掲げる各プロジェクトが平成24年度にどのくらい事業が進行したのか、評価するもので、各プロジェクトには、個別目標等があり、目に見える形で表している。</p> <p>重点プロジェクト1から5の指標、実績、進捗状況評価及び今後の施策について説明を受けた。</p> <p>【主な意見等】</p> <p>個別事業評価の評価結果欄に、維持、拡充、改善とあるが、その意味を簡単に説明してほしい。</p> <p>維持とは、現状を引き続き行っていくこと。拡充とは、要望制が高いと判断し、充実させていくこと。改善とは、改善点が見られるため善い方へ改めるといことです。</p> <p>これは墨田区の進捗状況評価であるので、これで良いと思うが、国や東京都の課題を取り入れた方がもっと良くなるのではないか。</p> <p>重点プロジェクト1では、放射線測定器を貸し出し、区民グループの指摘により除染を行ったケースがあるが、今後の施策に反映されていない。重点プロジェクト2では、区施設の温室効果ガスの排出量が増加したため進捗状況評価をB評価としたが、今後の施策に反映されずミスマッチな施策が挙げられている。重点プロジェクト3では、今後の施策に</p>			

「緑と花のまちづくり推進地域制度」が挙げられているが、指標のみどり率と直接関係がない。重点プロジェクト4では、今後の施策に資源物持ち去り対策の強化が挙げられているが、一人当たりのごみの発生率・削減率を強化した方が良い。

重点プロジェクト2で、平成22年度の区施設における温室効果ガスの排出量が6.9%増加とあるが、その原因を把握しているのか。

平成22年度は国のエコポイント事業により省エネ家電等が急速に普及した。しかし、区では、ようやく庁舎のリフレッシュ計画により施設の見直しを行っている。また、平成22年度は猛暑の影響も考えられる。

重点プロジェクト2の個別目標2-1に、平成23年度の区施設における温室効果ガス排出量が4.5%の削減とある。

この進捗状況評価は大人向けであり、子ども向けに資料を見える化等して、すみだまつり等で公表してもらいたい。

この進捗状況評価の数字だけを見ても、中身を理解していないと解らない。現状を考える課題も出てこない。たとえば、重点プロジェクト2の区域における温室効果ガス総排出量の118.9万t-CO₂について、区民・事業者・行政がどのように関わっているのか理解する必要があると思う。

区域における温室効果ガス総排出量については、区民・事業者・行政の分類で仕分けることは難しい。産業部門、民生部門、運輸部門、廃棄物部門に仕分けられている。

数値の根拠を知っておく必要がある。

温室効果ガス排出量の詳細については、オール東京62市区町村共同事業のホームページで公表をしているので、参考にしていただければと思います。

1tの温室効果ガスを排出するには、電気をどのくらい使用するのか。

電気を作る原料によって変わる。電気・ガス・石炭等で、CO₂の排出係数が違う。東京電力の2012年度のCO₂排出係数は、1KWあたり0.406kgでした。

みどり率ですが、プランター1㎡以下では、みどり率には入らないのか。

調べて次回の区民会議で回答します。

重点プロジェクト4の今後の施策に資源物持ち去り対策を強化するとあるが、どの程度やってもらえるのか。自宅前からたびたび持っていかれた。

管理人等がマンションで集めた物を引き渡したり、持ち去り業者が自動販売機の回収ボックスから抜いていく場合は、区として取り締まりはできない。区として取り締まれるのは、区の集積場に出された資源物を持ち去った場合に、注意票を渡して指導している。現場を押さえ、ビデオ等で一部始終を証拠として持っていかないと、警察では扱って貰えない。ハードルがとても高い。

持ち去り対策として有効な手段がないのに、今後の対策に資源物持ち去り対策を強化するというのはおかしい。以前行っていた集団回収の方が良かった。その時は持ち去りはなかった。他の自治体では、その集団回収に戻すところもできた。

行政回収から集団回収へ戻した区を参考にしてはどうか。

集団回収は、マンションの入居者の高齢化等の理由により、集団回収の維持が難しくなった現状があり、行政回収へと移行した。また、以前は集団回収の担い手は、町会、自治会の子ども会であった。子ども会のない町会、自治会では、集団回収の維持すら難しい

状況だった。

かつて子ども会で集団回収を行っていた。その当時から、働くお母さんが増えた。平日の日中に手伝うよりお金を出す方が良いという人もいた。子ども会のお母さんを使うことは難しくなってきた。

資源物の回収の母体を町会と考えることは、役員の高齢化や女性の社会進出により難しくなってきた。それより、デポジット制度や資源物を回収するとポイントが付く等の他の方法を考えた方が良い。

マンションにおける資源物の回収の協力度合いは、管理人の有無等による影響が大きいが、マンションの数や管理人の有無等の把握はできないか。

マンションの管理人は、集積所回収の協力はする。しかし、集団回収で報奨金に関わると協力はしない。

町会やマンションに関する集団回収、資源物回収について、色々意見が出されましたが、結論は人の和、コミュニケーションが大切だということに尽きると思います。

2 平成 25 年度下半期の計画について

事務局より定例会第 3 回から第 5 回で話された意見について、基本目標 1 から 5 に分類された資料が配付された。それを参考に下半期の計画について検討を行った。

【主な意見等】

区民会議では、代々の申し送り事項として、環境ふれあい館の更なる活用、スカイツリーの環境施設としての活用、国際環境都市宣言がある。下半期の検討課題としてこの 3 点を提案する。

環境担当に関わる計画等について、今年度改定される計画が 2 本ある。墨田区分別収集計画、平成 25 年度墨田区一般廃棄物処理実施計画の改定状況、改定内容等について議題として、勉強会を行いたい。

副会長の提案された環境ふれあい館の更なる活用、スカイツリーの環境施設としての活用については、具体的な問題の提起が必要ではないかと思う。これまで検討されたごみの問題等、すべて基本目標 1 が重要な関わりを持っている。基本目標 1 を理解すればすべての問題が解決すると思う。そこで、基本目標 1 を取上げながら、副会長が提案された 3 点を検討してはどうか。

墨田区が環境立国、観光立国を目指すのであれば、マンション問題はさけては通れない。その切り口はごみ問題となる。

分科会等を開いて、下半期の計画を検討してはどうか。

基本目標 1 から 5 について皆さんから出された意見等の中から、今後の検討事項を決めていけば良いのではないか。

10 月から 12 月については、基本目標 1 ～ 5 を検討した内容を、もっと深く掘り下げていけば良い。

10 月から 12 月は、基本目標 1 ～ 5 についてやり直す。その他、区民会議で代々持ち越しの課題をどうやっていくのか検討する。

下半期の方針については、役員に一任ということによろしいでしょうか。

(反対意見なしで一任)

3 その他、情報提供等

(1) すみだまつりについて

事務局から第2回実施委員会(9/11)で決定された事項について、報告を受けた。

(決定事項)

- ・メインテーマ「すみだの環境を考えよう」
- ・パネルの展示 3枚。基本目標1をメインにする。
- ・すみだ環境クイズラリーの手伝い
- ・アンケートの実施

(事務局)

ただし、アンケートについては、すみだまつり実行委員会でも区民会議と同様のアンケートを予定しているため、事務局としては、すみだまつり実行委員会と一緒にすみだ環境クイズラリーの用紙の裏面を使用する形で実施する。

【主な意見等】

参加内容等について、決めるべき事項は今日、決めなければいけない。

アンケートの実施については賛成。しかし、アンケートを実施したならば、データを解析し、公表していかなければいけない。そのことを考慮して、設問を考えなければいけない。

アンケートは、区民会議で独自にやることに意義がある。何故、クイズラリーの裏面を使わなければいけないのか。

各委員がそれぞれアンケートの設問を考えて、メール等で報告してもらいたい。

今回は基本目標1をメインとしているので、基本目標1の中で身近な問題を扱ってはどうか。

アンケートの設問は、皆に知ってもらいたいことを問うのか、ただ漠然と区民の意見を聞くのか、方向性が決まらないと、設問は作りづらい。

アンケートの目的が明確でなければやる必要はない。何のためにアンケートをやるのか、委員の意識の統一が必要だと思う。区民の意識の現状を把握するため、設問は、すみだ環境共創区民会議・すみだ環境区宣言・すみだ環境の日・すみだ環境の共創プランを知っていますか、ここから始まると思う。

すみだまつりについて、来週に第3回実施委員会を開催し、参加内容を決定していきたいと思います。

(会長より、すみだまつりへの従事について、各委員の日程調整を行った。)

(2)フォーラム・イン・すみだ 2013(副会長)

(3)スポーツ GOMI 拾い大会への参加について(会長)

10月5日(土)午後1時～午後3時30分 スカイツリータウン

(会長より区民会議として参加の意向を募ったが、参加者がいないため、不参加となった。)

所 管 課

区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463